

福王寺法林文献目録

1. 画集・展覧会カタログ等

福王寺法林『増刊・三彩』365号, 昭和52(1977)年12月

奥村土牛「福王寺君に就いて」

今泉篤男「福王寺法林の人と作品」

福王寺法林「対談・制作を語る」

全特集・福王寺法林『アサヒギャラリー』36号, 昭和53(1978)年

福王寺法林「私のヒマラヤ紀行」

福王寺法林・今泉篤男「対談:ヒマラヤー朝陽に燃ゆ」

竹田道太郎「院展に打ち建てる新境地」

吉村貞司「神々の山の無限空間に挑む」

鈴木進「対象に迫る意欲と執念」

平山久夫「臥遊の境への精進」

小林五浪「師を語る」

「素顔の福王寺法林」

特集 福王寺法林『アート・トップ』55号, 昭和55(1980)年2月

吉村貞司「超絶神との対決」

福王寺一彦「父福王寺法林」

高橋常雄「福王寺法林先生との三十年」

平山久夫「福王寺法林とヒマラヤ」

植村鷹千代「私と福王寺法林—誠実さとねばり強さ」

岡田譲「私と福王寺法林—私が見た福王寺法林」

嘉門安雄「私と福王寺法林—男くさい日本画家」

鈴木進「私と福王寺法林—福王寺法林画伯へ」

竹田道太郎「私と福王寺法林—福王寺法林を語る」

田辺憲三「私と福王寺法林—福王寺法林氏と限りない気宇」

「福王寺法林展」図録 読売新聞社, 平成3(1991)年5月16日

河北倫明「福王寺法林展によせて」

植村鷹千代「福王寺法林の画業」

富山秀男「ライフワークとしてのヒマラヤ賛」

今泉篤男「福王寺法林の人と作品」

「現代作家デッサンシリーズ 福王寺法林展」図録 朝日新聞社, 平成11(1999)年10月20日

鈴木進「福王寺法林展によせて」

「青の継承 福王寺法林・一彦おやこ展」図録 米沢市上杉博物館, 平成13(2001)年11月10日

2. 寄稿文献・インタビュー等

福王寺法林「〈私の作品〉北の海」『三彩』131号, 昭和35(1960)年10月

福王寺法林「残雪」日本経済新聞, 昭和37(1962)年4月15日

福王寺法林「緑の溪谷」日本経済新聞, 昭和38(1963)年6月16日

福王寺法林「高砂族の少女」日本経済新聞, 昭和42(1967)年5月21日

インタビュー〈好日好題〉福王寺法林『日本美術』49号, 昭和43(1968)年

福王寺法林「〈特集・天心以後100年—日本美術院〉五浦でのめぐりあい」『アサヒギャラリー』5-1号, 昭和50(1975)年

福王寺法林・加藤東一・今野忠一・浜田台児・大山忠作・山崎一芳「〈特集・日本画の伝統と革新〉座談会:日本画が抱えこんだ癒とは」『日本美術』115号, 昭和50(1975)年1月

福王寺法林「〈作家このごろ〉自然と心象」『アート・トップ』29号, 昭和50(1975)年8月

福王寺法林「絵心そそるヒマラヤ」日本経済新聞, 昭和51(1976)年

7月31日
 福王寺法林「コップ酒の友」日本経済新聞、昭和51(1976)年10月29日
 福王寺法林「〈出品作の素描と作者の言葉〉ヒマラヤの朝」『三彩』373号、昭和53(1978)年10月
 福王寺法林「ふるさとの素描—米沢」『日本美術』147号、昭和53(1978)年夏
 福王寺法林「〈江川鈴織第3回日本画個展〉個展に寄せて」『アサヒギャラリ』43号、昭和54(1979)年
 福王寺法林「〈期待する作家〉ヒマラヤの朝」『三彩』377号、昭和54(1979)年2月
 福王寺法林「〈秋季院展 作家の言葉〉クーンプの朝」『三彩』445号、昭和59(1984)年10月
 福王寺法林「〈春の院展 作者の言葉〉聖なる山(エベレスト)」『三彩』452号、昭和60(1985)年5月
 福王寺法林「〈秋季院展 作家の言葉〉雪煙のマチャプチャレ」『三彩』457号、昭和60(1985)年10月
 福王寺法林・斎藤 清・扇畑忠雄・尾形順一郎「座談会:水」『家庭と電気』353号、昭和61(1986)年
 福王寺法林「〈特集・横山操〉ウサギとカメ」『アート'86』117号、昭和61(1986)年秋
 福王寺法林「〈秋の院展 作家の言葉〉朝焼けのクーンプ」『三彩』493号、昭和63(1988)年10月
 大山忠作・鈴木 進・濱田台児・稗田一穂・福王寺法林・松尾敏男・真部俊生・藤本韶三「座談会:これからの日本画」『三彩』500号、平成元(1989)年5月
 福王寺法林・伊藤清水・加藤東一・鈴木 進・高田 誠・濱田台児・真部俊生「座談会:混迷の中の美術界」『三彩』508号、平成2(1990)年1月
 福王寺法林「〈奥村土牛追悼文集〉土牛先生」『三彩』518号、平成2(1990)年11月
 福王寺法林「福王寺法林の足跡」『アート'91』135号、平成3(1991)年
 福王寺法林・富山秀男・福王寺一彦「座談会 福王寺法林を囲んで」『新美術新聞』603号、平成3(1991)年5月11日
 福王寺法林・田中 穰「福王寺法林—ヒマラヤまでの歩み」(対談)『三彩』525号、平成3(1991)年6月
 福王寺法林「追悼 森田曠平氏」『新美術新聞』727号、平成7(1995)年3月1日
 福王寺法林「勲三等瑞宝章 ヒマラヤを日本画に描き続けた福王寺法林さん 雄大な山迫った『デッサンの鬼』」読売新聞、平成9(1997)年4月28日
 福王寺法林 聞き手:森谷義信「〈ウィークエンド・インタビュー〉日本画家 福王寺法林さん 世界に輝く作めどす」山形新聞、平成10(1998)年11月22日

3. 関連文献

加藤一雄「〈新人作家シリーズIV〉福王寺法林」『萌春』84号、昭和35(1960)年11月
 河北倫明「福王寺法林」『みづゑ』672号、昭和36(1961)年4月
 北村友彦「絵画主題としての落葉 福王寺法林の場合」『萌春』88号、昭和36(1961)年2月
 今泉篤男「福王寺法林」『三彩』137号、昭和36(1961)年4月
 「福王寺法林氏」日本経済新聞、昭和52(1977)年3月29日
 藤本韶三「〈画室訪問〉福王寺法林」『三彩』359号、昭和52(1977)年8月
 吉村貞司「福王寺法林、大ヒマラヤに挑む」『ビジョン』7-3号、昭和52(1977)年
 「〈表紙の作家〉福王寺法林氏〈ヒマラヤの朝〉」『点描』124号、昭和53(1978)年8月
 「〈表紙の作家〉福王寺法林氏〈ヒマラヤの朝〉」『点描』143号、昭和

和55(1980)年3-4月
 「〈表紙の作家〉福王寺法林氏〈ヒマラヤの月〉」『点描』159号、昭和56(1981)年12月
 「〈出会いとわが画業・特集編〉福王寺法林・ヒマラヤを描く心」『アートグラフ』17号、昭和57(1982)年
 田中 穰「福王寺法林」『月刊美術』150号、昭和63(1988)年3月
 米倉 守「神々をとらえた福王寺法林遠近法」『アート'91』135号、平成3(1991)年
 「福王寺法林個展」『アート・トップ』122号、平成3(1991)年
 紀元「福王寺法林個展」『美術通信』1436号、平成3(1991)年
 編集部「〈人と芸術〉福王寺法林」『月刊美術』188号、平成3(1991)年5月
 「福王寺法林展」『新美術新聞』603号、平成3(1991)年5月11日
 細野正信「宇宙を立体に切る」『新美術新聞』603号、平成3(1991)年5月11日
 嘉門安雄「福王寺法林を語る」『新美術新聞』603号、平成3(1991)年5月11日
 川口直宜「福王寺芸術の魅力」読売新聞(夕刊)、平成3(1991)年5月15日
 「大作50点 にじむ優しさ 東京 福王寺画伯の回顧展始まる」山形新聞、平成3(1991)年5月17日
 「福王寺作品に人気 本社3階の記念館」米澤新聞、平成3(1991)年5月6日
 川口直宜「ヒマラヤにかける情熱」『三彩』525号、平成3(1991)年6月
 「福王寺さん 初の回顧展」米澤新聞、平成3(1991)年6月14日
 花田吉雄「ヒマラヤへの軌跡・福王寺法林の世界 1 回顧展機に再出発を」読売新聞(山形県版)、平成3(1991)年6月14日
 花田吉雄「ヒマラヤへの軌跡・福王寺法林の世界 2 左目失明で絵一筋」読売新聞(山形県版)、平成3(1991)年6月15日
 花田吉雄「ヒマラヤへの軌跡・福王寺法林の世界 3 描く心は戦地でも」読売新聞(山形県版)、平成3(1991)年6月16日
 花田吉雄「ヒマラヤへの軌跡・福王寺法林の世界 4 スケッチ人の3倍」読売新聞(山形県版)、平成3(1991)年6月18日
 花田吉雄「ヒマラヤへの軌跡・福王寺法林の世界 5 命を取られても…」読売新聞(山形県版)、平成3(1991)年6月19日
 河北倫明「『世界の屋根』に昇華」山形新聞、平成3(1991)年6月25日
 「福王寺法林展始まる」山形新聞、平成3(1991)年6月26日
 「福王寺法林回顧展が開幕」読売新聞(山形県版)、平成3(1991)年6月27日
 「雄大なヒマラヤも 福王寺法林展が始まる」米澤新聞、平成3(1991)年6月27日
 「入場者1万人を突破—福王寺法林展」読売新聞(山形県版)、平成3(1991)年7月13日
 河北倫明「身体性から精神へ」山形新聞、平成3(1991)年7月5日
 「文化功労者の福王寺法林氏『名誉、感無量です』」山形新聞、平成10(1998)年10月23日
 「『市民挙げて喜びたい』郷土の米沢」山形新聞、平成10(1998)年10月23日
 「絵画の世界にまい進」米澤新聞、平成10(1998)年10月24日
 「録音室(1面下段コラム)」米澤新聞、平成10(1998)年10月24日
 「ヒマラヤに挑戦 画業に命かける」河北新報、平成10(1998)年10月24日
 「『あらん限り勉強』福王寺法林氏」上毛新聞、平成10(1998)年10月24日
 桑野弘月「偉大な画人 福王寺法林先生の『文化功労者』を喜ぶ」山形新聞、平成10(1998)年11月6日
 芥川喜好「〈絵は風景〉福王寺法林〈長崎夜景〉」読売新聞、平成11(1999)年4月18日
 「『神々の山』に深い情念 福王寺法林展」朝日新聞、平成11(1999)年10月18日

「米沢 新文化施設“絵の父子競演” 福王寺法林さん・一彦さん 能舞台
に松と竹・ステージの緞帳」山形新聞, 平成11(1999)年12月28日
ヨシダ ヨシエ 「精神の彫琢の道筋の時空」『ART GRAPH』8-1号,
平成12(2000)年1月
「ホール飾る親子作品 福王寺法林氏と一彦氏」米澤新聞, 平成13
(2001)年10月14日
「福王寺法林・一彦おやこ展《寒月富士》や《追母影》きょうから米沢
で」米澤新聞, 平成13(2001)年11月10日
「日本画の福王寺法林, 一彦両氏 初のおやこ展、米沢で」米澤新聞,
平成13(2001)年11月11日

4. 展覧会評(個展)

桑「福王寺法林個展」朝日新聞, 昭和36(1961)年1月26日
北村友彦「福王寺法林展」『萌春』89号, 昭和36(1961)年3月
三宅正太郎「福王寺法林個展」『三彩』173号, 昭和39(1964)年5月
隆「福王寺法林個展」朝日新聞, 昭和39(1964)年4月5日
「福王寺法林個展」『萌春』123号, 昭和39(1964)年5月
「福王寺法林個展」朝日新聞, 昭和44(1969)年2月26日
「福王寺法林展」毎日新聞(夕刊), 昭和44(1969)年2月28日
寺田千壘「福王寺法林新作個展」東京新聞(夕刊), 昭和44(1969)
年2月28日
丈「福王寺法林新作個展」読売新聞(夕刊), 昭和44(1969)年2月
28日
「福王寺法林新作個展」『萌春』174号, 昭和44(1969)年3月
三宅正太郎「展覧会評」『三彩』243号, 昭和44(1969)年4月

5. 展覧会評(院展)

鈴木進『萌春』47号, 昭和32(1957)年10月
河北倫明『三彩』92号, 昭和32(1957)年10月
北川桃雄『三彩』107号, 昭和33(1958)年10月
『美術グラフ』8-8号, 昭和34(1959)年10月
鈴木進『三彩』119号, 昭和34(1959)年10月
北川桃雄『三彩』131号, 昭和35(1960)年10月
友部直『萌春』95号, 昭和36(1961)年10月
鈴木進『三彩』143号, 昭和36(1961)年10月
北川桃雄『三彩』155号, 昭和37(1962)年10月
鹿島享『萌春』116号, 昭和38(1963)年10月
三木多聞『三彩』167号, 昭和38(1963)年10月
三宅正太郎『三彩』178号, 昭和39(1964)年10月
三宅正太郎『三彩』192号, 昭和40(1965)年10月
北川桃雄『三彩』206号, 昭和41(1966)年10月
田辺憲三『萌春』148号, 昭和41(1966)年9月
多田信一『三彩』220号, 昭和42(1967)年10月
細野正信『萌春』159号, 昭和42(1967)年9月
多田信一『三彩』236号, 昭和43(1968)年10月
三宅正太郎『三彩』249号, 昭和44(1969)年10月
細野正信『萌春』180号, 昭和44(1969)年9月
多田信一『三彩』264号, 昭和45(1970)年10月
永井信一『萌春』191号, 昭和45(1970)年9月
多田信一『三彩』278号, 昭和46(1971)年10月
細野正信『萌春』203号, 昭和46(1971)年9月
鈴木進『三彩』293号, 昭和47(1972)年10月
三宅正太郎『萌春』214号, 昭和47(1972)年9月
永井信一『三彩』323号, 昭和49(1974)年10月
竹田道太郎『萌春』236号, 昭和49(1974)年9月
永井信一『三彩』338号, 昭和50(1975)年10月
永井信一『三彩』349号, 昭和51(1976)年10月
永井信一『三彩』362号, 昭和52(1977)年10月
鈴木進『三彩』385号, 昭和54(1979)年10月

三宅正太郎『萌春』291号, 昭和54(1979)年9月
竹田道太郎『三彩』397号, 昭和55(1980)年10月
竹田道太郎『三彩』421号, 昭和57(1982)年10月
竹田道太郎『三彩』445号, 昭和59(1984)年10月
一井健二『美術の窓』30号, 昭和59(1984)年11月
竹田道太郎『三彩』457号, 昭和60(1985)年10月
竹田道太郎『三彩』469号, 昭和61(1986)年10月
永井信一『三彩』481号, 昭和62(1987)年10月
永井信一『三彩』493号, 昭和63(1988)年10月
永井信一『三彩』505号, 平成元(1989)年10月
永井信一『三彩』517号, 平成2(1990)年10月
永井信一『三彩』529号, 平成3(1992)年10月
永井信一『三彩』541号, 平成3(1992)年10月
高山淳・佃堅輔『美術の窓』120号, 平成4(1992)年11月
高山淳『美術の窓』141号, 平成6(1994)年11月
高山淳『美術の窓』151号, 平成7(1995)年11月
高山淳『美術の窓』161号, 平成8(1996)年11月
高山淳『美術の窓』172号, 平成9(1997)年11月
高山淳『美術の窓』183号, 平成10(1998)年11月
高山淳『美術の窓』194号, 平成11(1999)年11月
高山淳『美術の窓』206号, 平成12(2000)年11月
高山淳『美術の窓』218号, 平成13(2001)年11月

6. 展覧会評(院小品展・院春季展・春の院展)

『萌春』43号, 昭和32(1957)年4月
『美術グラフ』8-4号, 昭和34(1959)年5月
『萌春』68号, 昭和34(1959)年6月
『萌春』80号, 昭和35(1960)年6月
友部直『萌春』91号, 昭和36(1961)年5月
宮城正俊『萌春』100号, 昭和37(1962)年4月
鹿島享『萌春』112号, 昭和38(1963)年5月
『萌春』123号, 昭和39(1964)年5月
『萌春』132号, 昭和40(1965)年4月
『萌春』143号, 昭和41(1966)年4月
『萌春』165号, 昭和43(1968)年4-5月
松原叔『三彩』229号, 昭和43(1968)年5月
三宅正太郎『三彩』231号, 昭和43(1968)年6月
田中皓一『萌春』210号, 昭和47(1972)年5月
田中皓一『萌春』221号, 昭和48(1973)年5月
『萌春』243号, 昭和50(1975)年5月
『萌春』265号, 昭和52(1977)年5月
多田信一『三彩』379号, 昭和54(1979)年4月
多田信一『三彩』392号, 昭和55(1980)年5月
竹田道太郎『三彩』404号, 昭和56(1981)年5月
竹田道太郎『三彩』428号, 昭和58(1983)年5月
竹田道太郎『三彩』464号, 昭和61(1986)年5月
永井信一『三彩』476号, 昭和62(1987)年5月
永井信一『三彩』488号, 昭和63(1988)年5月
永井信一『三彩』500号, 平成元(1989)年5月
永井信一『三彩』512号, 平成2(1990)年5月
永井信一『三彩』524号, 平成3(1992)年5月

7. 展覧会評(グループ展)

○「受賞者展」『萌春』28号, 昭和31(1956)年1月
「好流会」『萌春』53号, 昭和33(1958)年3月
「第11回日本美術協会展」『萌春』56号, 昭和33(1958)年6月
「彩光会展」『萌春』61号, 昭和33(1958)年11月
「七三会作品展」『萌春』61号, 昭和33(1958)年11月
「七三会」『美術グラフ』7-9号, 昭和33(1958)年11月

「新晴会展」『美術グラフ』7-9号, 昭和33(1958)年11月
「新晴会日本画展」『萌春』62号, 昭和33(1958)年12月
「洗々会日本画展」『萌春』68号, 昭和34(1959)年6月
「百合会日本画展」『萌春』69号, 昭和34(1959)年7月
「青嵐会・新鋭作家日本画30人展」『萌春』70号, 昭和34(1959)年8月
多田信一「九月会日本画展」『三彩』119号, 昭和34(1959)年10月
「花実会」『萌春』75号, 昭和35(1960)年1月
「新晴会展」『萌春』75号, 昭和35(1960)年1月
「中堅日本画家小品展」『萌春』75号, 昭和35(1960)年1月
多田信一「花実会第1展」『三彩』122号, 昭和35(1960)年1月
「樹水会日本画展」『萌春』76号, 昭和35(1960)年2月
「院展受賞者日本画展」『萌春』76号, 昭和35(1960)年2月
「此花シリーズ第1回展—梅—」『萌春』77号, 昭和35(1960)年3月
北川桃雄「院展受賞者展」『三彩』124号, 昭和35(1960)年3月
「第3回好流会展」『萌春』78号, 昭和35(1960)年4月
「晚雲会日本画展」『萌春』79号, 昭和35(1960)年5月
「空・野・山の会展」『萌春』79号, 昭和35(1960)年5月
「百合会日本画展」『萌春』79号, 昭和35(1960)年5月
「翌檜会日本画展」『萌春』81号, 昭和35(1960)年7月
「丹耀会第1回展」『萌春』81号, 昭和35(1960)年7月
「洗々会第1回展」『萌春』82号, 昭和35(1960)年8月
「清遊会第1回展」『萌春』82号, 昭和35(1960)年8月
「青嵐会日本画展」『萌春』84号, 昭和35(1960)年10月
「第1回北光会展」『萌春』84号, 昭和35(1960)年10月
「清香会」『萌春』84号, 昭和35(1960)年10月
「第2回九月会」『萌春』84号, 昭和35(1960)年10月
「第2回新喬会展」『萌春』86号, 昭和35(1960)年12月
「丁亥会」『萌春』86号, 昭和35(1960)年12月
「野火会」『萌春』86号, 昭和35(1960)年12月
「新晴会展」『萌春』86号, 昭和35(1960)年12月
「風景作家十六人展」『萌春』86号, 昭和35(1960)年12月
「花実会第2回展」『萌春』87号, 昭和36(1961)年1月
「第45回院展受賞者展」『萌春』89号, 昭和36(1961)年3月
「北辰会展」『萌春』89号, 昭和36(1961)年3月
「青山会第1回展」『萌春』89号, 昭和36(1961)年3月
「此花シリーズ第2回展—桃・桜—」『萌春』89号, 昭和36(1961)年3月
多田信一「好流会第4回展」『三彩』137号, 昭和36(1961)年4月
「翠松会展」『萌春』91号, 昭和36(1961)年5月
「翌檜会展」『萌春』91号, 昭和36(1961)年5月
「第6回洗々会展」『萌春』92号, 昭和36(1961)年6月
友部直「百合会展」『萌春』92号, 昭和36(1961)年6月
友部直「伸浩会展」『萌春』93号, 昭和36(1961)年7月
多田信一「伸浩会第1回展」『三彩』140号, 昭和36(1961)年7月
「桑実会展」『萌春』94号, 昭和36(1961)年8月
鹿島享「日本観光美術展」『萌春』96号, 昭和36(1961)年11月
「九月会」『萌春』96号, 昭和36(1961)年11月
鹿島享「北朱会展」『萌春』96号, 昭和36(1961)年11月
「風景作家展」『萌春』96号, 昭和36(1961)年11月
「新晴会展」『萌春』96号, 昭和36(1961)年11月
鹿島享「三人展」『萌春』96号, 昭和36(1961)年11月
多田信一「新晴会第4回展」『三彩』144号, 昭和36(1961)年11月
鹿島享「風霜会日本画展」『萌春』97号, 昭和36(1961)年12月
鹿島享「野火会」『萌春』97号, 昭和36(1961)年12月
鹿島享「四人展」『萌春』97号, 昭和36(1961)年12月
「山燦会」『萌春』97号, 昭和36(1961)年12月
「第3回新喬会展」『萌春』97号, 昭和36(1961)年12月
「大和美術4人展」『萌春』97号, 昭和36(1961)年12月
多田信一「山燦会3回展」『三彩』145号, 昭和36(1961)年12月
多田信一「生々会第1回展」『三彩』145号, 昭和36(1961)年12月

多田信一「野火会第3回展」『三彩』145号, 昭和36(1961)年12月
桑「横山操・福王寺法林新作2人展」東京新聞(夕刊), 昭和36(1961)年12月14日
F「横山操・福王寺法林2人展」毎日新聞(夕刊), 昭和36(1961)年12月15日
河北倫明「横山操・福王寺法林2人展」日本経済新聞, 昭和36(1961)年12月16日
「操・法林二人展」『萌春』98号, 昭和37(1962)年1月
「麓交会展」『萌春』98号, 昭和37(1962)年1月
多田信一「操・法林二人展」『三彩』147号, 昭和37(1962)年2月
鹿島享「飛鳥会展」『萌春』101号, 昭和37(1962)年5月
鹿島享「北辰会展」『萌春』101号, 昭和37(1962)年5月
鹿島享「洗々会展」『萌春』102号, 昭和37(1962)年6月
「燦人会展」『萌春』103号, 昭和37(1962)年7月
友部直「桑弩会展」『萌春』103号, 昭和37(1962)年7月
鹿島享「伸浩会展」『萌春』104号, 昭和37(1962)年9月
友部直「生匠会展」『萌春』106号, 昭和37(1962)年11月
鹿島享「新晴会展」『萌春』107号, 昭和37(1962)年12月
鹿島享「新鋭展」『萌春』107号, 昭和37(1962)年12月
鹿島享「浅心会」『萌春』107号, 昭和37(1962)年12月
鹿島享「三人展」『萌春』107号, 昭和37(1962)年12月
多田信一「野火会第4回展」『三彩』157号, 昭和37(1962)年12月
鹿島享「野火会」『萌春』108号, 昭和38(1963)年1月
鹿島享「山燦会展」『萌春』108号, 昭和38(1963)年1月
鹿島享「丁亥会」『萌春』109号, 昭和38(1963)年2月
鹿島享「風景画大家展」『萌春』109号, 昭和38(1963)年2月
鹿島享「飛鳥会展」『萌春』111号, 昭和38(1963)年4月
鹿島享「生如会展」『萌春』112号, 昭和38(1963)年5月
多田信一「生如会」『三彩』162号, 昭和38(1963)年5月
鹿島享「伸浩会展」『萌春』113号, 昭和38(1963)年6月
鹿島享「燦人会展」『萌春』114号, 昭和38(1963)年7月
鹿島享「風霜会」『萌春』118号, 昭和38(1963)年12月
鹿島享「武蔵野会」『萌春』118号, 昭和38(1963)年12月
鹿島享「生匠会展」『萌春』118号, 昭和38(1963)年12月
鹿島享「空花山展」『萌春』118号, 昭和38(1963)年12月
多田信一「武蔵野会第1回展」『三彩』169号, 昭和39(1964)年1月
多田信一「野火会第5回」『三彩』169号, 昭和39(1964)年1月
鹿島享「三人展」『萌春』120号, 昭和39(1964)年2月
鹿島享「野火会展」『萌春』120号, 昭和39(1964)年2月
鹿島享「丁亥会」『萌春』121号, 昭和39(1964)年3月
「第5回翌檜会」『萌春』124号, 昭和39(1964)年6月
多田信一「翌檜会展」『三彩』174号, 昭和39(1964)年6月
山燦会展『萌春』125号, 昭和39(1964)年7月
「水に因める九品庵展」『萌春』125号, 昭和39(1964)年7月
三宅正太郎「野火会展」『三彩』180号, 昭和39(1964)年12月
三宅正太郎「風霜会展」『三彩』180号, 昭和39(1964)年12月
「燦人会展」『萌春』134号, 昭和40(1965)年6月
「院展同人展」『萌春』136号, 昭和40(1965)年8月
「九品庵記念中堅展」『萌春』137号, 昭和40(1965)年9月
「橙黄会展」『萌春』137号, 昭和40(1965)年9月
「新晴会8回展」『萌春』137号, 昭和40(1965)年9月
「飛鳥会第1回展」『萌春』138号, 昭和40(1965)年10月
「華計会展」『萌春』138号, 昭和40(1965)年10月
「野火会第7回展」『萌春』138号, 昭和40(1965)年10月
「悠々会第1回展」『萌春』139号, 昭和40(1965)年11月
三宅正太郎「野火会展」『三彩』194号, 昭和40(1965)年12月
三宅正太郎「新晴会展」『三彩』194号, 昭和40(1965)年12月
「三溪洞50周年記念展」『萌春』144号, 昭和41(1966)年5月
「燦人会展」『萌春』146号, 昭和41(1966)年7月

「第2回悠々会展」『萌春』147号, 昭和41(1966)年8月
 「第9回新晴会展」『萌春』150号, 昭和41(1966)年11月
 「野火会第8回展」『萌春』150号, 昭和41(1966)年11月
 三宅正太郎「野火会展」『三彩』209号, 昭和41(1966)年12月
 「風霜会展」『萌春』151号, 昭和42(1967)年1月
 「華計会展」『萌春』151号, 昭和42(1967)年1月
 「飛鳥会第2回展」『萌春』152号, 昭和42(1967)年2月
 「燦人会展」『萌春』157号, 昭和42(1967)年7月
 「華計会展」『萌春』162号, 昭和43(1968)年1月
 「野火会第9回展」『萌春』162号, 昭和43(1968)年1月
 「飛鳥会第3回展」『萌春』162号, 昭和43(1968)年1月
 「風霜会展」『萌春』163号, 昭和43(1968)年2月
 「第3回悠々会展」『萌春』165号, 昭和43(1968)年4-5月
 「燦人会展」『萌春』168号, 昭和43(1968)年8月
 「北辰画廊開設記念現代大家新作展」『萌春』169号, 昭和43(1968)年9月
 松原 叔「野火会展第10回展」『三彩』238号, 昭和43(1968)年12月
 「浅心会展」『萌春』172号, 昭和44(1969)年1月
 「丁亥会第19回展」『萌春』172号, 昭和44(1969)年1月
 「風霜会展」『萌春』173号, 昭和44(1969)年2月
 「悠々会第4回展」『萌春』174号, 昭和44(1969)年3月
 「九品庵展“水影”」『萌春』177号, 昭和44(1969)年6月
 「濤林クラブ第3回展」『萌春』183号, 昭和45(1970)年1月
 「橙黄会新作展」『萌春』183号, 昭和45(1970)年1月
 「生々会第1回展」『萌春』183号, 昭和45(1970)年1月
 「飛鳥会展」『萌春』183号, 昭和45(1970)年1月
 「悠々会第5回展」『萌春』184号, 昭和45(1970)年2月
 「浅心会展」『萌春』185号, 昭和45(1970)年3月
 「双玄会展」『萌春』190号, 昭和45(1970)年8月
 「金蘭会展」『萌春』192号, 昭和45(1970)年10月
 「華計会展」『萌春』193号, 昭和45(1970)年11月
 「飛鳥会展」『萌春』194号, 昭和45(1970)年12月
 「第6回悠々会展」『萌春』197号, 昭和46(1971)年3月
 「燦人会展」『萌春』202号, 昭和46(1971)年8月
 「金蘭会展」『萌春』202号, 昭和46(1971)年8月
 「第4回叢光会」『萌春』204号, 昭和46(1971)年10月
 「飛鳥会展」『萌春』206号, 昭和47(1972)年1月
 「第1回翠嶺会展」『萌春』209号, 昭和47(1972)年4月
 「飛鳥会展」『萌春』217号, 昭和48(1973)年1月
 「生々会第4回展」『萌春』218号, 昭和48(1973)年2月
 「悠々会第8回展」『萌春』219号, 昭和48(1973)年3月
 「日本画小品展」『萌春』224号, 昭和48(1973)年8月
 松原 叔「第2回翅会展」『三彩』309号, 昭和48(1973)年11月
 「燦人会展」『萌春』235号, 昭和49(1974)年8月
 「日本の四季展—シリーズ4—」『萌春』238号, 昭和49(1974)年11-12月
 「扇面画展」『萌春』240号, 昭和50(1975)年2月
 「悠々会第10回展」『萌春』242号, 昭和50(1975)年4月
 「第16回金蘭会展」『萌春』246号, 昭和50(1975)年8月
 「燦人会展」『萌春』247号, 昭和50(1975)年9月
 「第4回翅会展」『萌春』249号, 昭和50(1975)年11月
 「飛鳥会展」『萌春』251号, 昭和51(1976)年2月
 「第6回生々会展」『萌春』251号, 昭和51(1976)年2月
 「第11回悠々会展」『萌春』252号, 昭和51(1976)年3月
 「扇面画展」『萌春』253号, 昭和51(1976)年4月
 「第17回金蘭会展」『萌春』257号, 昭和51(1976)年8月
 「第5回翅会展」『萌春』259号, 昭和51(1976)年10月
 「第7回生々会展」『萌春』261号, 昭和52(1977)年1月
 「飛鳥会展」『萌春』261号, 昭和52(1977)年1月

「60周年記念尚美展」『萌春』262号, 昭和52(1977)年2月
 「第12回悠々会展」『萌春』263号, 昭和52(1977)年3月
 「日本画小品展」『萌春』265号, 昭和52(1977)年5月
 「燦人会展」『萌春』267号, 昭和52(1977)年7月
 「尚美展」『萌春』288号, 昭和54(1979)年6月
 「第19回燦人会展」『萌春』290号, 昭和54(1979)年8月
 「第10回生々会展」『萌春』294号, 昭和55(1980)年1月
 「橙黄会展」『萌春』296号, 昭和55(1980)年3月
 「第15回悠々会展」『萌春』297号, 昭和55(1980)年4月
 「燦人会展」『萌春』301号, 昭和55(1980)年8月
 「第10回新風会展」『萌春』346号, 昭和60(1985)年8月

1. この文献目録は、「1 画集・展覧会カタログ等」、「2 寄稿文献・インタビュー等」、「3 関連文献」、「4 展覧会評(個展)」、「5 展覧会評(院展)」、「6 展覧会評(院小品展・院春季展・春の院展)」、「7 展覧会評(グループ展)」の項目ごとに、掲載年月日(発行日)順に編成した。作成にあたり、「日本美術年鑑」(東京国立文化財研究所)を底本にし、茨城県近代美術館で所蔵する文献、および作家所蔵のスクラップ等により、中田智則(茨城県近代美術館学芸員)が編集した。

2. 「1 画集・展覧会カタログ等」に関しては、書名、発行所、発行年月日の順に記し、所収文献を筆者名、記事名の順に記した。また、発行日が入っていない展覧会カタログに関しては、展覧会初日を発行日とした。その他の文献に関しては、筆者名、記事名(院展評、春の院展評は略した)、誌名、発行日(雑誌の場合は発行月)の順で記した。記事は「」で表し、誌名は「」で表した。

3. 「2 寄稿文献・インタビュー等」には、座談会など作家本人が執筆・発言した文献を収録した。